

授業科目 小児発達保健論

【担当教員名】  松井 由美子		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 本科目では、基本となる子どもの発達や特徴を学び現代の子どもの生活に目を向けながら小児保健の現状と意義について考察する。					
【行動目標：SB0】 1) 小児の特徴を述べるができる。 2) 小児保健の動向を説明できる。 3) 小児保健の現状と課題について述べられる。 4) 発育・発達の概念を説明できる。 5) 発育の原則や特徴を述べるができる。 6) 小児の栄養の重要性について説明できる。 7) 小児の生活に目を向け生活習慣の重要性について理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	授業ガイダンス・小児保健の基本概念			1～7	講義
2	小児保健・母子保健統計と社会問題			2、3	講義
3	小児の発育・発達			4、5	講義
4	小児の栄養・環境と生活			6	講義
5	小児保健の現状と課題			1～7	講義
6	子どもの権利を守る			1～7	講義
7	小児保健行政とサービス			1～7	講義
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		小児看護学概論	二宮啓子、今野美紀	南江堂	2009・3,000円＋税
参考書		国民衛生の動向 2013 日本子ども資料年鑑 2013			
その他の資料					
【評価方法】 筆記試験 (50%) レポート (30%) 出席・態度 (20%)			【履修上の留意点】 統計資料からみえる子どもとその家族の課題について考えましょう。		